

PROGRAM NOTE

2014

近藤譲：原因と結果

オンド・マルトノ、ヴィオラ、ギターのための三重奏曲

Causes and Effects

A Trio for Ondes Martenot, Viola and Guitar

十八世紀の哲学者ヒュームによれば、或る事象に続いて他の事象が生じ、その繋がりが自然(必然的)に感じられるとき、前者は「原因」、後者はその「結果」とであると受け取られる。つまり、原因と結果の繋がりは、認識者の主観に基づく。たとえ偶然に並置された音楽的事象も(この曲の場合がそうなのだが)、聴き手の耳には、それらが因果性によって結ばれているように響くかもしれない。互いに無関係なものであっても、並置されれば、それらに関係性を読み取ることが可能になる。そもそも音楽の構造は、そのように主観的な性質のものだ。「原因と結果」という曲題は、私のそうした音楽形式観を象徴している。

この作品は、大矢素子さんからの「オンド・マルトノのための室内楽を」という依頼を受けて、2014年に作曲。緻密なアンサンブルが必要とされるかなりの難曲になってしまった。

近藤譲

初演：2015年3月22日 大矢素子オンド・マルトノリサイタル vol.4

(東京オペラシティ リサイタルホール)

初演者：大矢素子(オンド・マルトノ) 甲斐史子(ヴィオラ) 佐藤紀雄(ギター)

委嘱：大矢素子

出版：University of York Music Press (UK)

演奏時間：7分30秒